

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	教育庁 生涯学習課	加藤 盛彦
施策名	8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現	事業群関係課(室)	義務教育課	
事業群名	⑧ 豊かな人生を支える県民の学習環境の整備	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	262,160
	⑨ 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化			24,743

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)							(取組項目)			
⑧価値観や生活の多様化が進む中で、それぞれのライフステージや時代の変化に応じた学習機会が得られ、その成果を社会に還元できる環境を整備します。 ⑨地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくりを進めるため、地域を担う人材の育成や社会教育の中核的な機能を有する公民館の活性化を図ります。							i)「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備(事業群⑧) ii)市町立図書館の支援、県民の課題解決支援サービスの実施、視覚障害者等のための読書環境の整備など県立図書館の機能充実(事業群⑧) iii)夜間中学※の設置に向けた検討(事業群⑧) iv)公民館を核としたふるさとの絆づくりを目指す活動の推進(事業群⑨) v)多世代・多分野で協働するプログラムを通じた社会教育関係者の育成(事業群⑨)			
							※夜間中学:年齢や国籍等を問わず、様々な理由で中学校を修了していない人や学び直しを求める人が通う、夜の時間帯に授業が行われる中学校夜間学級のこと			
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	⑧ながさき県民大学の講座受講者数	目標値①		590,000人	590,000人	590,000人	590,000人	590,000人	590,000人以上維持(R7)	⑧ながさき県民大学の講座受講者数は、令和元年度は590,000人を超えていたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大による講座の中止や少人数講座の増加により減少した。その後回復してきているが、令和5年度の講座受講者数は451,329人と目標値には届いていない。現在、幅広い年代の受講者が意欲的に生涯学習に取り組むことができるよう、様々な種類の講座情報登録やオンラインでの実施など、県民の学習機会の確保及び意欲向上に努めている。
		実績値②	592,387人(R元)	285,361人	450,431人	451,329人			進捗状況	
		達成率②/①		48%	76%	76%			やや遅れ	
	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	
	⑨社会教育関係者等スキルアップ連続講座及び県社会教育研究大会等の参加満足度	目標値①		93%以上	93%以上	93%以上	93%以上	93%以上	93%以上(R7)	⑨社会教育の充実・活性化を目標に、参加者のニーズに応じた研修会等を企画した。また、参加者の受講しやすさにも配慮してオンライン併用でも開催した。質の高い、人材育成につながる研修会等を実施することで、参加満足度93%以上を達成した。
		実績値②	93%(H30)	98.6%	98.0%	97.8%			進捗状況	
		達成率②/①		100%	100%	100%			順調	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 （令和6年度新規・補正事業は事業内容）	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和5年度事業の成果等
				R4実績	うち 一般財源	人件費 （参考）		主な指標	R4目標	R4実績	達成率	
				R5実績					R5目標	R5実績		
				R6計画					R6目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 （公共、研究等）			
所管課（室）名			事業対象									
取組項目 i	○	1	ながさき県民大学事業費	2,544	2,544	5,357	●事業内容 県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業を体系化し、県民に学習機会を効果的に提供することや、受講状況を評価すること等により、県民の学習意欲を高めることで、地域における生涯学習の一層の振興を図る。 ●実施状況 受講者数獲得のため、各市町等へのまなびの手帳の配布や県教育委員会SNSへの情報掲載等の周知活動を積極的に行った。 県内に居住又は勤務・通学する者	【活動指標】 ながさき県民大学の講座数（講座）	2,500	3,482	139%	●事業の成果 ・令和5年度は3,493講座であり、講座数は目標を達成している。主催講座については受講者の満足度は高く、成果が上がっている。奨励賞受賞者は64名で、うち43名が18歳未満の受講者であった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・県民の学習意欲を高め、地域における生涯学習の振興を図るうえで効果的な取組であり、事業群の目標達成に寄与した。
				3,271	3,271	5,361			2,500	3,493	139%	
				4,337	4,337	3,112			2,500			
			H20-	生涯学習振興法第3条				【成果指標】 ながさき県民大学（主催講座）における受講者の満足度（％）	98以上	98	100%	
									98以上	99	100%	
			生涯学習課	○	—	—			98以上			

取組項目 i		2	生涯学習情報提供システム運営費	292	0	3,827	●事業内容 県民のさまざまな学習活動を支援するため、インターネットを活用した生涯学習情報提供システムを構築し、講座情報をはじめとする生涯学習関連情報を効果的に提供する。 ●実施状況 「主催講座」の様子を写真で掲載したり、「おすすめの講座・イベント」や「新着情報」を随時更新するなど、利用者にとって魅力ある情報を発信することで、利用者の拡大を図った。 県内に居住又は勤務・通学する者	【活動指標】	100	118	118%	●事業の成果 ・令和5年度は、講座の活動の様子を写真で掲載するなど、さまざまな情報発信を随時行ったことで、昨年度と同程度のシステムへのアクセス件数を獲得することができた。
				247	0	3,830		新着情報の掲載件数(件)	100	116	116%	
				415	0	2,334			100			
				生涯学習振興法第3条				【成果指標】	100以上	108	100%	
			H18-				システムへのアクセス件数の前年度比(%)	100以上	96	96%		
			生涯学習課	○	—	—						
取組項目 ii	○	3	図書館管理運営費	281,609	134,810	191,325	●事業内容 県立図書館において、知の拠点として、資料を充実させ、県内公共図書館等と連携・協力しながら、図書館サービスの充実を図る。 ●実施状況 資料の充実、講座等の開催、展示など、来館者サービスの向上を図るとともに、県内市町立図書館、学校図書館等に対する協力貸出や協力レファレンス、実務研修会を実施し、各図書館の運営に対する支援を行った。 また、電子申請による利用申請サービスの開始、電子書籍の充実及び郷土資料のデジタル化・アーカイブ化を通じて、地理的な制約や障害等にかかわらず図書館資料を閲覧できる環境を整備し、非来館型サービスの充実を図った。	【活動指標】	3	3	100%	●事業の成果 ・サービスの向上を図ることで、県民の課題解決や学習活動の支援につながった。また、県内各図書館の支援を行うことにより、当館に来館できない県民にも読書活動の支援を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・資料の充実、県内図書館の支援、電子書籍、障害者サービス等を通して、年齢、居住地、国籍、障害の有無に関わらず県民の誰もが読書に親しみ、生涯を通じて学ぶことができる環境を整えた。
				258,642	146,020	199,134		実務研修会実施回数(回)	3	3	100%	
				262,727	145,536	202,306			3			
				図書館法第3条				【成果指標】	49,000	47,658	97%	
			—				県立図書館から市町立・学校図書館等への蔵書貸出冊数(冊)	49,000	46,930	95%		
			生涯学習課	○	—	—		49,000				
取組項目 iv v	○	4	社会教育振興促進費	23,392	23,374	17,602	●事業内容 社会教育の充実及び振興に資するため、社会教育関係者としての知識の習得や役割等についての理解を深め、県内の社会教育関係者等のネットワークを広げるとともに、指導力や実践力、コーディネート力の向上を図る。 ●実施状況 市町社会教育担当課、長崎県社会教育委員連絡協議会、県公民館連絡協議会、社会教育関係団体との協力・連携をとりながら、社会教育振興のための研修会や研究大会を県内各地で実施した。	【活動指標】	21	21	100%	●事業の成果 ・活動指標については、21回の目標のうち、20回を達成できた。達成できなかったのは、荒天(大雪)による中止のためである。成果指標については、満足度97%であり目標を十分に達成した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくりを進め、地域を担う人材の育成や社会教育の充実・活性化に寄与した。
				24,743	24,743	18,382		社会教育関係者等スキルアップ連続講座及び県社会教育研究大会等の実施回数(回)	21	20	95%	
				26,551	26,551	19,452			21			
				社会教育法第6条、同第9条の6				【成果指標】	93以上	97	100%	
			H16-				公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者満足度(%)	93以上	97	100%		
			生涯学習課	○	—	—	社会教育関係者	93以上				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備	
●実績の検証及び解決すべき課題 受講者数は目標値を達成できなかったが、講座数は目標値を達成できた。また、受講者の満足度も高く成果がみられた。今後は、ながさき県民大学及び生涯学習情報提供システム「ながさき まなびネット」の更なる周知・広報が課題となる。	●課題解決に向けた方向性 ながさき県民大学運営委員会等での協議を踏まえ、障害者や若者などのニーズに対応する講座の企画や関係団体への連携依頼、県の広報媒体・SNSやポスター等を活用した広報活動など、周知方法について検討を行う。
ii 市町立図書館の支援、県民の課題解決支援サービスの実施、視覚障害者等のための読書環境の整備など県立図書館の機能充実	
●実績の検証及び解決すべき課題 県内公共図書館職員の資質向上を目的とし、年3回の実務研修を開催したほか、市町立図書館へ出向いて図書館運営について情報交換を行った。また、市町立図書館のネットワークの中心として資料や情報の提供を行った。 市町図書館等への貸出冊数は目標値には達していないため、その背景や原因を検証し市町図書館等との情報共有等を行う必要がある。また、解決すべき課題としては、障害者の方の読みたい、知りたい意欲に応えられるよう障害者を対象とした本を無料で届ける「ブックメールサービス」、本を読むことが困難な方を対象とした「読書バリアフリーサービス」を行っているが、一部の利用に留まっていることである。	●課題解決に向けた方向性 県民の情報拠点として、高度化・多様化・専門化する県民の要求や社会のニーズに応じ、必要とする資料や情報の充実を図り、引き続き市町図書館等への協力貸出を行っていく。また、県内公共図書館等のサービス向上をめざし、各図書館の要望も参考にしながら、実務研修会の内容を充実させる。 また、居住地や障害の有無等によってサービスに差が生じないように、図書館サービスについてさらに周知を図る必要がある。

iii	夜間中学の設置に向けた検討		●実績の検証及び解決すべき課題 各市町に夜間中学に係る国の動向や先進事例の紹介を行い、市町における夜間中学設置を推進した結果、佐世保市が夜間中学を来年4月に市立中学校内に設置する方針を決定した。これを受け、教育庁内では、夜間中学開設に関する情報共有を図るため、ワーキンググループ会議を2度開催した。現在、設置主体である佐世保市は、ハード、ソフト両面において夜間中学開設に係る調整段階であるため、今後、市の意向を踏まえ、必要な支援を行う必要がある。	●課題解決に向けた方向性 県と佐世保市との連携を密にし、細やかな情報交換に努め、佐世保市が目指す夜間中学の在り方が実現可能となるよう教育庁内ワーキンググループで共有・協議し、県としての支援を行う。
	iv 公民館を核としたふるさととの絆づくりを目指す活動の推進		●実績の検証及び解決すべき課題 テレビ会議システムを活用したハイブリッド型研修会を実施し、より参加しやすい環境を整え、研修会受講者の満足度は97%と高かった。参加者からは、「もっと様々な実践事例を学びたい」という声が多く、参加者のニーズを分析しながら、実践事例発表者及び講師の依頼を進めていく必要がある。	●課題解決に向けた方向性 研修会の実施前に、受講者のニーズ調査を行う。さらに、「他団体との連携」や「地域づくり」などテーマを絞り込んで学びを提供するとともに、受講者の実践につながりやすく、意欲を高める講座を意識して実践事例発表者及び講師の招聘を行う。
v	多世代・多分野で協働するプログラムを通じた社会教育関係者の育成		●実績の検証及び解決すべき課題 県社会教育研究大会や研修会では、高校生や地域のボランティア団体、まちづくりに関わるコーディネーター等、多世代・多分野の参画による事例紹介ができた。今後は、これまで以上に多世代・多分野で協働するプログラムの重要性を周知し、市町における実践につなげていくことが必要である。	●課題解決に向けた方向性 今後も多世代・多分野で協働するプログラムの重要性を伝えるために、関係部局等の協力を得ながら、各市町で実践されている協働プログラムについて情報収集し、研修会等において周知しながら、実践と人材育成につなげていく。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間 所管課(室)名		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	ながさき県民大学事業費	公民館やコミュニティセンター、特別支援学校などの講座開設機関との連携を図り、障害のある方のライフステージに応じた多様な学習機会や学びの場所を提供するよう引き続き見直しを行った。 また、幅広い世代が参加できるよう、情報提供の方法をながさき県民大学運営委員会等で協議し、今後の事業展開に活用することとした。	②	共生社会の実現に向けた障害者の居場所づくりや社会参加を促進する。講座受講者数の課題について、引き続き誰でも学べる環境を整備するため、大学等の実施機関や関係各課との連携を深めるとともに、現状を分析し運営委員会や社会教育委員の会等で意見をもらい、受講者数の増加へ向け対策を講じていく。	改善
			H20-				
			生涯学習課				
	2		生涯学習情報提供システム運営費	今まで連携できていなかった団体へ情報登録等の働きかけを行い、より多くの講座情報を登録するよう見直しを行った。併せて、生涯学習情報提供システム「ながさき まなびネット」の周知を行うことで、県民へ様々な生涯学習情報を提供するとともに、ながさき県民大学の受講者を確保することとした。また、システムにおいて利用する人が分かりやすいようにデザインの改修を行った。	②	新着情報や主催講座情報等各種コンテンツの更新を頻繁に行い、必要に応じてシステムを改修しながら、利用者にとって魅力ある情報を発信していく。	改善
			H18-				
			生涯学習課				
取組項目 ii	○	3	図書館管理運営費	電子書籍及びオーディオブックを充実させることで、地理的制約や障害等に関わらずいつでも図書館資料を利用できる環境を整備し、非来館型サービスの充実を図った。	⑨	県民の誰もが読書に親しみ、生涯を通じて学ぶことができる環境を整えるために、県立図書館の資料の充実や講座の開催を行うとともに、各市町図書館を支援しながら、ともに図書館サービスの向上を目指す。 また、今後も県民の学びの場や機会を持続的に提供できるツールとして電子書籍等の非来館型サービスの更なる充実に努め、図書館資料の利用促進及び地域間格差の解消につなげる。	改善
			—				
			生涯学習課				
取組項目 iv v	○	4	社会教育振興促進費	各種研修会についての広報を強化した。具体的には、ホームページのさらなる充実とInstagramの開始と運用である。また、会議及び研修会におけるオンライン配信併用の回数を増やし、参加希望者の利便性の向上を図った。	②⑤⑥	一部研修会については、肖像権や著作権等に配慮した上で研修会後の動画配信（録画配信）による、受講者の利便性の向上に努める。 また、長崎県の社会教育を担う人材を育成するためにも、本県における社会教育主事講習の継続的实施を目指す。	改善
			H16-				
			生涯学習課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点